

■機能チェック

万一本剤を落としたり、何らかの不具合を感じた場合は、ペンニードル[®]を使って機能チェックを行ってください。

方法

1. インスリンカートリッジにひびが入っていないことを確認します。
2. 新しい注射針をつけます。
3. 空打ちを行い、インスリンが出ることを確認してください。
4. 針ケースをまっすぐつけます。
5. 20単位に設定します。
6. 針先を下に向け、注入ボタンを押し込みます。インスリンが針ケースの中に注入されます。



判定

針ケースの細くなった部分が満たされていれば問題ありません(右図)。

針ケースの細くなった部分よりインスリンが多い場合、または少ない場合は、新しい注射針で再度機能チェックを行ってください。

注意すべきこと

- ◇ 再度、針ケースの細くなった部分よりインスリンが多い、または少ない結果となった場合は、そのフレックスペン[®]は使用せず、主治医に相談してください。

■保管とお手入れ

保管

- ・未使用の本剤は冷蔵庫で保管してください。凍らせないようにしてください。
- ・使用中の本剤は冷蔵庫に入れないでください。
- ・必ずキャップをつけて保管してください。

お手入れ

- ・汚れは、中性洗剤を含ませたやわらかい布で拭き取ってください。
- ・ほこりやゴミは、やわらかいブラシで吹き払った後、やわらかい布で軽く拭いてください。

注意すべきこと

- ◇ 次のような場所を避けてください。故障の原因となったり、品質に影響を及ぼすことがあります。
 - ・ほこりやゴミが付着しやすい場所
 - ・汚れやすい場所
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・極端に低温または高温になる場所
- ◇ 外箱及び本体に表示してある使用期限を過ぎたものは使用しないでください。
- ◇ 保管するときは必ず注射針をはずしてください。注射針をはずさずに保管すると、温度変化などにより針先から液が漏れたり、インスリンカートリッジ内に気泡ができることがあります。針詰まりや感染の原因となるおそれもあります。
- ◇ 本剤及び注射針などは、お子様の手の届かないところに保管してください。落としたり衝撃を与えたりすると故障の原因となることがあります。また、万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- ◇ 直接水で洗わないでください。本剤には防水処理が施されていませんので、故障の原因となることがあります。万一水などがかかった場合は、吸水性のあるやわらかい布で拭いてください。
- ◇ 本剤に油をさしたりしないでください。故障の原因となることがあります。

低血糖について(糖質食品を携帯しましょう)

インスリンを注射して、効果があらわれる頃に、「冷や汗」「手のふるえ」「動悸」などの症状が重なっておこる場合は、低血糖の可能性あります。「冷や汗」「手のふるえ」「動悸」などがおこる前に、「ふらつく」「いらいらする」「めまいがする」「おなかがすく」「ボーッとする」などの症状がおこることがあります。この初期症状は人によって異なりますが、自分に特有な症状をよく知っておくことが大切です。

低血糖をおこしたら、速やかにブドウ糖や、ペットシュガー(10~20g)などの補食を摂ってください。詳しいことは主治医の指示をよく聞き、いざという事態に備えてください。



ノボケア相談室

(フリーダイヤル)

0120-180363




ノボ ノルディスク ファーマ製品について、わからないことや困ったことがある場合は、上記にご連絡ください。

受付：月曜日から金曜日まで
午前9時~午後6時
(祝祭日、会社休日を除く)

左記以外の時間は下記の電話で受け付けます。
夜間・休日受付センター 0120-359516
(但し、原則として回答は翌営業日となります。)

NovoCare

故障かなと思ったら

現象	原因	対処
注射針がつけられない。	右の①、②の順で対処してください。	①注射針を交換してください。 ②注射針を交換してもつけられない場合は、フレックスペン®を交換してください。
主治医から指示された単位に設定できない。単位合わせダイヤルが回らない。	フレックスペン®ではインスリンカートリッジ内の残量以上の単位を設定できません。右の①、②のいずれかで対処してください。	①フレックスペン®を新しいものに交換し、空打ちした後、主治医に指示された単位を注射します。 ②残量分を注射した後、新しいフレックスペン®に交換し、不足分を注射します。
空打ちのとき、インスリンが出ない。(注入ボタンは完全に押し込める。)	インスリンカートリッジの中に気泡が入っています。	気泡が抜け、インスリンが出るまで空打ちを続けてください。  (ごく小さな気泡は完全に打ち出すことはできませんが、これは異常ではありません。)
注入ボタンが押しにくい。(押せない。)	単位が印字されている部分に汚れが付いています。	「保管とお手入れ」に従い、汚れを拭いてください。
	注入ボタンを斜めに押し込もうとしています。	●色がついている部分を真上から押し込んでください。 (14参照)
	ダイヤル表示窓を指で押さえています。 注入ボタンと本体の間に指がはさまっています。	●窓を押さえたり、ダイヤルの印字部分とフレックスペン®本体との間に指がはさまらないよう注意してください。 (14参照)
	注射針が曲がっている、または針穴が詰まっています。	●注射針が斜めから刺さり、後ろ側の針が折れたことによって、インスリンが出ないために注入ボタンが重くなることもあります。新しい注射針に交換してください。(注射針はまっすぐ取りつけてください。また、使用前に針を曲げたり傷つけたりしないでください。)
凍結させてしまった可能性があります。(凍結した後、薬液が溶けている場合でも注入ボタンが押せなくなることがあります。)	●新しいフレックスペン®に交換してください。 (未使用のフレックスペン®は冷蔵庫で保管しますが、冷蔵庫の吹き出し口から冷風が直接あたる場所を避け、ドアポケットに置くなどしてください。使用中のものは室温で保管してください。)	
インスリンカートリッジのゴム栓が膨らんでいる。 	注射針が正しく装着できていないときに、単位を設定して注入ボタンを押しました。	●新しいフレックスペン®に交換してください。(ゴム栓が過剰に膨らんでいると、注射針を正しく取り付けられなかったり、取りつけた場合にゴム栓が裂けることがあります。)
	注射針をつけずに、単位を設定して注入ボタンを押しました。	●注射後、ゴム栓が膨らんだことに気がついた場合は、設定した単位のインスリンが注射できていないおそれがあります。血糖値や自覚症状の変化にご注意いただくとともに主治医に相談してください。

※これらの対処を行っても問題が解決しない場合は、本剤を新しいものに交換し、空打ちを行ってから、注射してください。それでも問題がある場合は、医療従事者にご相談ください。